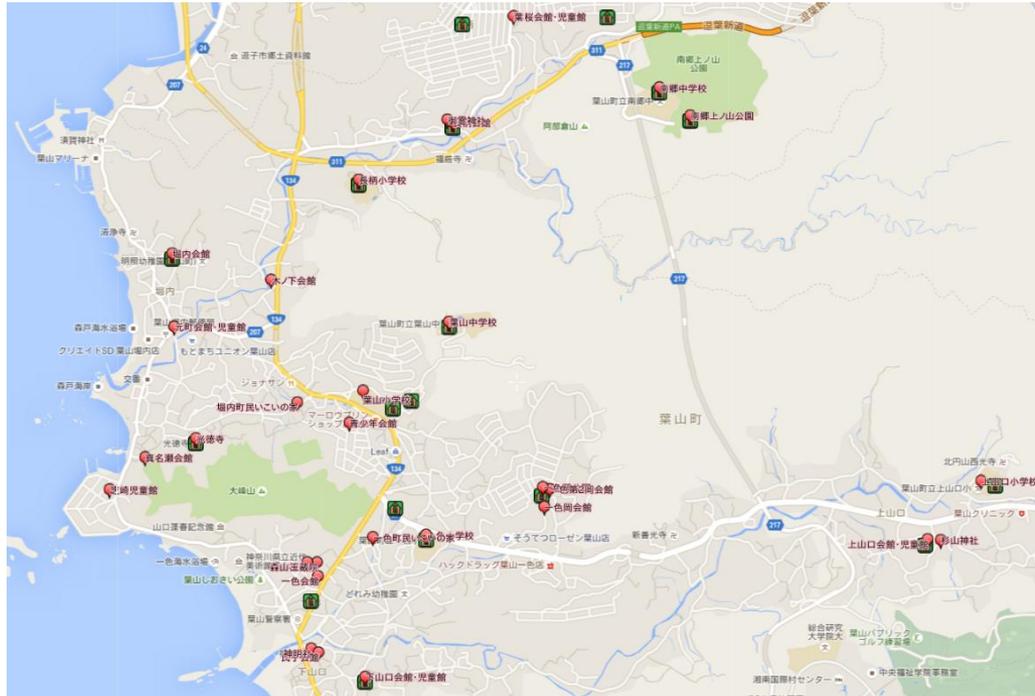


地理空間情報の活用について

- ・地理・空間に関係づけられた情報について、多くの分野でITでの活用が進展中。
- ・「地理空間情報活用推進基本法」が施行、特に災害対応の分野での活用が進められ、「災害対策基本法」改訂に、その活用を規定している。
- ・災害ボランティアにおけるIT活用における地理空間情報の活用を紹介



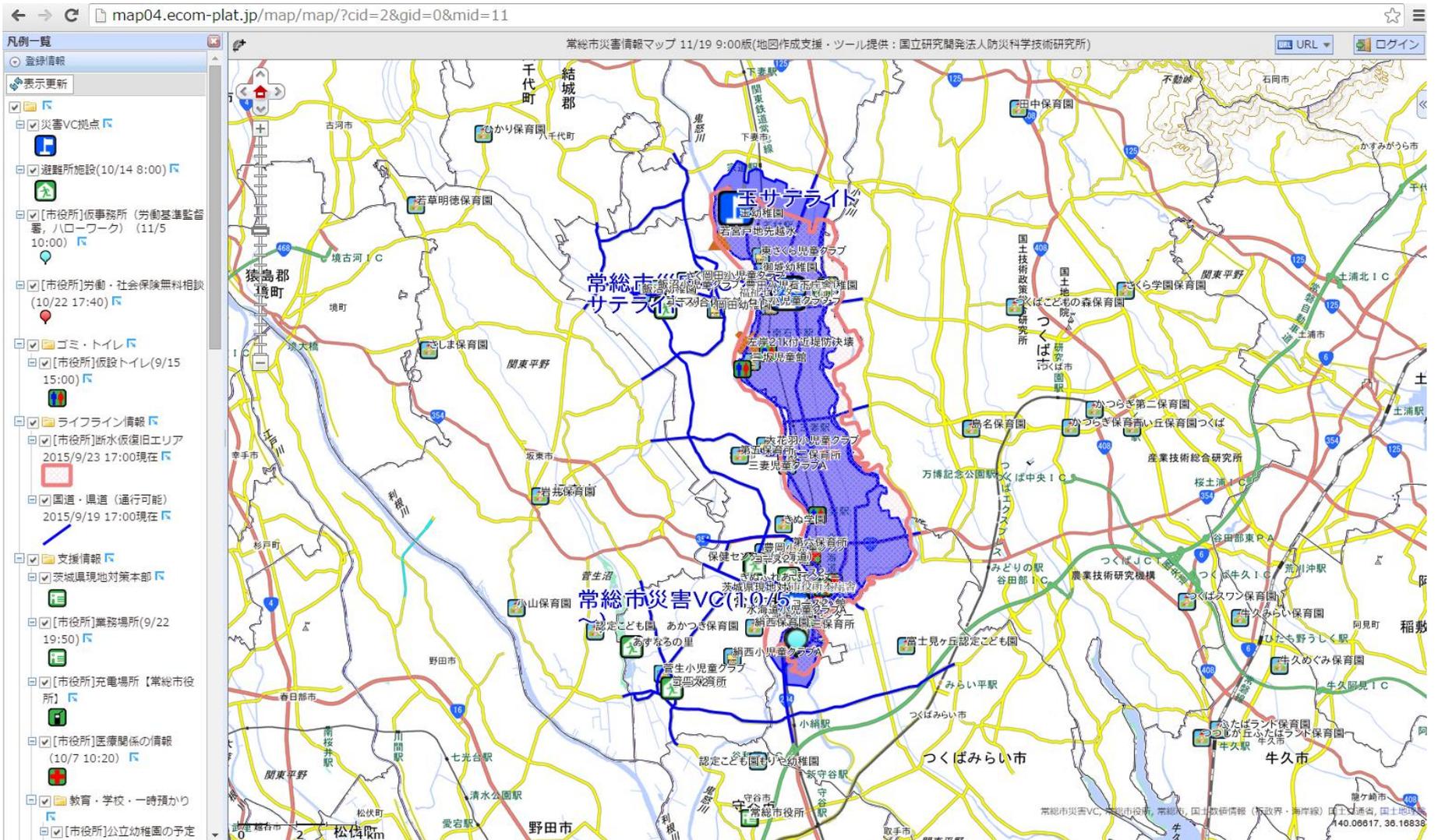
2016年1月
葉山災害ボランティアネットワーク

災害対応の地理空間情報活用進展の背景

- 2005年8月末、大型ハリケーン「カトリーナ」の際に、多くの市民が被害情報をGoogleマップに寄せ、被害の全容が一目瞭然となった
 - 災害時の緊急対応威力発揮に着目
 - NGA(米国家地球空間情報局)は災害対応の市民情報を含む 地理空間情報の活用を急速に推進
- 阪神・淡路大震災(1995)で、関係機関の協力で国土地理院が電子基準点整備、空中写真撮影などを行い、地理情報システム(GIS)が 災害復旧に役立つことを認識
 - 「国土空間基盤データの整備及びGISの普及の促進に関する長期計画」策定(1996)
 - 「GISアクションプログラム ～国民生活を実現するための行動計画～」作成(2002)
 - 「地理空間情報活用推進基本法」公布(2006)
 - 行動計画に並行して、産官学によるGIS活用推進
- 東日本大震災(2011)で、大学・研究機関によるインターネット、GISによる情報の伝達と可視化が状況の把握と理解に極めて有効と認識
 - web-GISなる言葉とともに、政府、公共機関による民間を含む普及、展開
 - 「災害対策基本法」改訂にて、インターネットの活用、地理空間情報の活用を規定

発災後のポータルサイト 常総市被災状況マップ例

- ・越水/決壊/浸水
 - ・避難所/相談所
 - ・ボラセン
 - ・停電/断水エリア
 - ・医療拠点
 - ・給水/浴場
 - ・ゴミ破棄場所 など
- を地図上で掲示



防災科技研支援で常総市の被災状況地図作成 2015年11月20日現在

ポータルサイトの地図情報

- 町の避難所、防災倉庫、貯水池、公共施設、公衆トイレ、ショップ、GS、病院、薬局、金融機関をマップ上に設定
- 地図上で選択表示
- 地図を移動して、特定地点を中心位置にするとそこからの直線距離がわかる

ショップ/金融機関/公共施設	公衆トイレ/公衆電話	医療機関	避難所	防災倉庫/貯水池
----------------	------------	------	-----	----------



eコミマップ

葉山町防災情報マップ

作成 2015/07/19 23:19:08 : 更新 2015/09/06 23:07:46

葉山町の避難所、防災倉庫、貯水池、公共施設、公衆トイレ、ショップ、GS、病院、薬局、金融機関をマップ上に設定してあります。選択表示することができます。また、地図を移動して、特定地点を中心位置にするとそこからの距離(直線だと思いません)が分かり、使えそうです

[マップを開く](#)

ショップ/GS/金融機関/公共施設

ショップ/GS/金融機関/公共施設一覧

[マップへ](#) [トップへ](#)

ショップ [GSへ](#) [金融機関へ](#) [公共施設へ](#)

名前	店種類	住所	電話	防災協定	ATM	FAX	WC
もとまちユニオン	スーパー	葉山町堀内851	875-5155	○			○
そうてつローゼン葉山	スーパー	葉山町一色988-1	876-3711	○	○		○
スズキヤ葉山	スーパー	葉山町一色2012	877-5311	○			○
セブンイレブン葉山一色	コンビニ	葉山町一色1818	875-9655				○
ファミリーマート葉山	コンビニ	葉山町上山口2976-1	878-8850				○
ローソン葉山上山口	コンビニ	葉山町上山口3161-1	873-4231				○
スリーエフ葉山木古庭	コンビニ	葉山町木古庭1572-5	878-6806		○	○	○

サブサイトマップ

- 葉山災害ボランティアセンターポータルサイト
- 葉山災害ボランティアネットワーク (HSVN)
 - 災害報告ツール「DITSJ」について
 - 規約
 - 平成27年度総会議事録
 - HSVNとは
 - 会報アーカイブ
 - HSVNとICT
 - 情報ボランティア募集
- 葉山町ボラセン情報
- 葉山町防災情報地図
- 葉山町社会福祉協議会

[詳細表示 >](#)

ブロックHTML

リンク

[Homeへ](#)

[神奈川県防災情報地図へ](#)



災害ボランティアポータルサイト(通常時) 県地図(周辺拡大)

国土数値情報ダウンロードサービスの情報(行政区、土砂災害危険箇所、浸水想定区域、鉄道、緊急輸送道路、公共施設、ヘリポート、医療機関、燃料給油所、避難所、福祉施設)、津波浸水マップを地図に配置



<http://goo.gl/7O79VQ>

国土数値情報ダウンロードサービス

国土交通省ではGISのついで情報の提供サイトを開設(2014)
⇒GISとして直接マップ配置可能

サーババックアップ作業に伴うサービス停止のお知らせ

<停止期間> 2016/1/19(火) 19:00 ~ 2016/1/20(水) 12:00頃
上記の時間帯で国土数値情報ダウンロードサービスを停止致します。
停止期間中は本サービスをご利用できません。
ご不便おかけ致しますが、ご理解頂けますようお願い申し上げます。

GISホームページ
国土交通省国土政策局国土情報課

[ENGLISH](#)

- Home
- 初めての方へ
- よくある質問(FAQ)
- サイトマップ
- 利用約款
- 問合せ

国土数値情報 ダウンロードサービス

「国土数値情報」とは、国土に関する基礎的な空間データセットです

Google™ カスタム検索

検索

Web API

「国土数値情報」は、国土形成計画、国土利用計画等の策定や国土政策の推進に資するため、地形、土地利用、公共施設など国土に関する基礎的な情報をGISデータとして整備したものです。現時点においては非営利・非商用でご利用いただけます。ただし、「国土数値情報」は、概ね国土地理院の2万5000分の1地形図(許容誤差:10m超)をベースに作成されていることから、精度上、建物の判読やナビゲーションなどに適していません。また、更新頻度が低いデータもあります。データの整備年次やライセンスに留意して使用し、いただくとともに、最新の情報が必要な場合はそれぞれ別途原典の資料で確認するようにしてください。
■重大な警告■ 本サイトで提供されているデータ(データセットやリリースの説明、API利用等)は、ジャンプしてきたリンク先やフレーム外の記載によらず、「国土数値情報」の利用約款等の本ホームページの記載のみに依拠し、それ以外の記載は全て無効です。ご注意ください。

- ・水域/地形
- ・土地利用
- ・地価
- ・行政区域
- ・学校区域
- ・条件不利地域
- ・災害/防災情報
- ・各種施設
- ・地域資源
- ・観光
- ・保護保全
- ・交通
- など

初めての方へ

サイトマップ

用語集

よくある質問(FAQ)

Q1
●●データの●●年度のものはありますか？

Q2
「国土数値情報ダウンロードサービス」からダウンロードしたデータに間違いを尋

データ形式

JPGIS 2.1

JPGIS 1.0

統一
フォーマット
(SHP・GML)

統一
フォーマット
(CSV)

1. 国土(水・土地)	2. 政策区域	3. 地域	4. 交通
< 水域 >	行政区域 <input checked="" type="checkbox"/> 更新	< 施設 >	高速道路時系列 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 更新
海岸線 <input checked="" type="checkbox"/>	DID人口集中地区 <input checked="" type="checkbox"/>	国・都道府県の機関 <input type="checkbox"/>	緊急輸送道路 <input checked="" type="checkbox"/>
海岸保全施設 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	中学校区 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	市町村役場等及び公的集会所 <input type="checkbox"/>	道路密度・道路延長メッシュ <input type="checkbox"/>

基本情報

局の概要・組織図 (PDF)

計画・基本方針一覧

報道発表資料

所管法令

所管審議会等

予算(省全体へリンク)

発災時の地理空間情報活用に向けて

• 通常時サイトをベースに発災後サイトの枠組みの作成

- 被災箇所、道路交通情報、ライフライン、ショップ、緊急設備(給水、支援物資配給)、規制などの情報収集、ボランティア受援(ex交通ルート、駐車場、宿泊など)情報の収集
- 情報の整理と展開、可視化(マップへの配置)



• 通常時サイトの充実

- 情報の充実、追加(ex写真追加、ショップのATM、FAX情報、使用可能トイレなど)
- 地域の状況(ex危険箇所、交通など)の理解



• 葉山町語り場(ミニ地図訓練)

- 対象地域を地図上で道路、河川、各情報の位置確認
- 町あるきで現地確認へ



• 各地域(大字単位)町あるき

- 道路、河川、避難所、防災倉庫、ショップ、公衆トイレ、ランドマーク等見てまわる
- 地域町民との交流(ex町内会など)

今後の課題

世の中では地理空間情報活用は必要とされ、標準化、法制化が進められている。これを受けて、政府機関は徐々に地理空間情報の活用を推進しつつある。多くの自治体はその活用の理解、意識をともなっていない現状である。災害ボラセン仕組み作りの各組織の多くも追いついていない実態にある。まず、私達の地理空間情報の理解、活用方法習得が必要



- 私達(社協、HSVNなど)として
 - 地理空間情報の理解と認識の共有
 - 地理空間情報の効果的な活用方法の習得
- 行政、関連組織に対して
 - 災害対応における地理空間情報活用の働きかけ
 - 行政に向けたオープンデータ化(電子化可能)の働きかけ
- 周辺地域関係組織と
 - 災害ボラセン仕組み作り関係者とのコミュニケーション
 - 周辺地域間での情報連携